

13 学習の基盤となる取組

(1) 学級づくり

児童の発言意欲は、学習の理解度だけでなく学級の雰囲気にも大きく左右される。児童の発言を教師のみならず学級全体で受け入れて課題を解決していくことで、連帯感が生まれ、認め合える雰囲気がつくられていく。「みんなで話し合える授業」をつくっていくために、日々の授業の中で、学級の人間関係に配慮しながら、このような雰囲気づくりを心掛けて授業実践に取り組んでいる。具体的な取組としては、次のようなことを行っている。

- ・友達のつまずきの中に思いを読み取り、集団解決の中で生かすことができるようにしている。その際「～さんは、どう思ったのか。」と全体に投げ掛け、つまずいた児童への共感的な理解を深められるようにする。
- ・隣の人や近くの人と気軽に、見合ったり、教え合ったりさせている。
- ・授業の振り返りを書いた際、「～さんの考えで分かりました。」と書いてある時、児童に紹介をし、集団で学ぶことのよさを実感できるようにしている。

また、朝の会や帰りの会、学級活動、道徳の時間など、様々な時間を利用して一人一人のよさを認め合う活動にも取り組んでいる。

- ・朝の会で一分間スピーチや、一言ニュースなどを発表させることで、相互理解を深められるようにしている。
- ・帰りの会で、「今日のヒーロー」や「今日のMVP」など、友達の頑張りを認めたり、いいところを発表したりしている。

(2) 望ましい学習習慣の形成

①学習に関する約束

- a) 学習用具・・・・・・・・・・基本的な物（鉛筆、赤鉛筆、消しゴム、定規、下じき）を確実にそろえる。
- b) 休み時間の過ごし方・・・「次の授業の準備をする時間」という意識を持たせる。

②家庭学習

- 家庭学習を「宿題」＋「自主学習」ととらえる。
- 家庭学習の目安の時間を「学年×10分」とおさえる。

<内容と方法>

a) 宿題

- ・学習内容の定着をねらいとし、音読、算数（プリントやドリル、ノートを用いた計算練習や復習問題等）、国語（漢字や文字の練習、作文等）の課題を学年に応じて毎日課している。

b) 自主学習

- ・学習習慣を身に付けさせること、進んで学習しようとする態度を養うことをねらいとして取り組ませている。
- ・自主学習ノートを、「一人年間2冊」を目標に取り組ませている。
- ・内容は学年部ごとの「自主学習メニュー」を参考にさせながら、児童自身に決めさせている。興味のあることや練習が必要なことなどを考えさせ、担任は様々な教科から内容を選択できるよう助言している。
- ・学習が終わったら、その日のうちに自分で答え合わせをさせたり、保護者に確認し

(3) 表現力の向上

自分の考えを分かりやすく話したり、相手の考えをしっかりと聞き取ったりするなど基礎的・基本的な表現力を高めるために、朝の活動の時間を活用して「聞き方・話し方トレーニングタイム」を設定している。

H27 第1回 聞き方・話し方トレーニングタイム 指導略案

研究紀要内容推進部 佐々木

題材名	「気持ちのよいあいさつをしよう」	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き方・話し方トレーニングタイムの意義を確認する。 ・気持ちのよいあいさつの仕方を身に付ける。
日時	平成27年5月27日 8:20～	場所	各教室
段階	活動内容	留意点等	
導入	1 聞き方・話し方トレーニングタイムの意義の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●聞き方・話し方トレーニングタイムの意義を説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面に応じた話し方の練習をする時間であること ・自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える練習をすること ・相手の考えを聞き取る練習をすること 	
	2 今日の「テーマ」の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●テーマ「気持ちのよいあいさつをしよう」を板書し、知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ設定の理由等については、各学年・学級の実態に応じて児童に伝える。 	
展開	3 普段のあいさつについて振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ●普段の学校生活の中でどのようなあいさつをしているのかを振り返らせる。 	
	4 「気持ちのよいあいさつをする時のポイント」について話し合う	<ul style="list-style-type: none"> ●「気持ちのよいあいさつをする時のポイント」を児童に考えさせ、発表させる。 <p>ポイントの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の目を見て言う ・恥ずかしがらないで言う ・相手に聞こえる声の大きさではっきり言う ・気持ちを込めて言う ・相手よりも先に言う ・相手の名前を呼んでから言う ・会釈も加える 	
	5 練習(トレーニング) ○学校でお客さんや先生方に会った時のあいさつの仕方 ○職員室や保健室に行った時のあいさつの仕方	<ul style="list-style-type: none"> ●具体的な場面を想定し、ポイントに従った動作や言動ができるようトレーニングする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで ・全体で 等 ●ポイントに触れながら活動を振り返る。 ●振り返りカードに記入させる。 	
まとめ	6 振り返り		

★★各学年・学級の発達段階や実態に応じて内容を取捨選択してご活用ください★★